

No.	C03
タイトル	密集市街地改善のための多様な主体・手法の連携に向けて ～荒川二・四・七丁目地区～
所属・名前	独立行政法人都市再生機構（UR） 密集市街地整備部 中山 裕子
キーワード	① 不燃化 ② 密集市街地 ③ 事業連携
<p>重点的・集中的な取組により、木密地域を燃え広がらない・燃えないまちにする目標を掲げた、東京都の木密地域不燃化10年プロジェクトが始まり5年が過ぎた。今後、さらなる不燃化を押し進めるには、多様な主体・手法の連携が求められる。</p> <p>UR都市機構では、以前より、密集市街地の改善について、関係者と協力し複数手法を組合せた総合的取組を展開してきた。URの手法を紹介した上で、さらに、都、区、UR等の複数主体の連携事例として、木密地域不燃化10年プロジェクトの不燃化特区である荒川二・四・七丁目地区の取組内容を紹介する。</p> <p>多様な主体・手法の連携という視点で整理すると、荒川二・四・七丁目では、都、区、UR、地元がそれぞれの取組をサポートし合い、不燃化という共通目標に向け、相乗効果を生んでいる。このような連携の広がりや、公と民、分野間の連携の幅の広がりや、今後のさらなる密集市街地改善につながっていく。</p>	